

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
**精華町消防庁舎**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40			<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>		1.9	0.15		-	1.9
1.1 騒音		3.0	0.40		-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00		-	
1.2 遮音		1.4	0.40		-	
1 開口部遮音性能		1.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能		2.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽衝撃源)		-	-		-	
4 界床遮音性能(重衝撃源)		-	-		-	
1.3 吸音		1.0	0.20		-	
<b>2 温熱環境</b>		1.9	0.35		-	1.9
2.1 室温制御		1.7	0.50		-	
1 室温		1.0	0.38		-	
3 外皮性能		1.0	0.25		-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-	
2.3 空調方式		3.0	0.30		-	
<b>3 光・視環境</b>		2.9	0.25		-	2.9
3.1 昼光利用		1.8	0.30		-	
1 昼光率		1.0	0.60		-	
2 方位別開口		3.0	0.40		-	
3 昼光利用設備		4.0	0.30		-	
3.2 グレア対策		4.0	1.00		-	
2 昼光制御	ブラインド及び庇にてグレアを制御	4.0	1.00		-	
3.3 照度		3.0	0.15		-	
3.4 照明制御		3.0	0.25		-	
<b>4 空気質環境</b>		3.7	0.25		-	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00		-	
4.2 換気		3.0	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-	
4.3 運用管理		4.0	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御	建物内禁煙とし、喫煙は屋外喫煙スペースにて行う	5.0	0.50		-	
<b>Q2 サービス性能</b>		3.7	0.40		-	<b>3.8</b>
<b>1 機能性</b>		3.7	0.40		-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40		-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応	OAフロアとし、40VA/m <sup>2</sup> 以上のコンセント容量を確保	4.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30		-	
1 広さ感・景観	天井高さ2.7mを確保し、窓を設置	4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースとし、執務スペースの1%以上を確保	4.0	0.33		-	
3 内装計画	京都府産木材を採用。消防署として耐久性の高い床材の採用。建	4.0	0.33		-	
1.3 維持管理		4.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	トイレには防汚性の高い内装材を採用。風除室のクリア確保。	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保	SKを設け、清掃用資材置場、清掃用流しを確保	4.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		4.2	0.31		-	4.2
2.1 耐震・免震		4.6	0.48		-	
1 耐震性	重要度係数1.5にて計算	5.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	複層仕上塗材を採用	4.0	0.23		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床には塩ビタイル、壁にはビニルクロス、天井にはボードを採用し	5.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	排水・通気にはVP、給水にはVLPを採用	5.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-	

2.4 信頼性			4.2	0.19			
1	空調・換気設備	指令室、警務室において、バックアップ対応	5.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	非常用発電設備、無停電電源設備を備えている。地下空間への	5.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	耐震クラスAを採用	4.0	0.20			
5	通信・情報設備	光ケーブル、メタルケーブル、携帯電話網にて通信手段の多様化	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.7	0.29			3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31			
1	階高のゆとり	階高4.4m確保	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.20	4.0	0.40			
3.2 荷量のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.6	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性	空配管を使用し仕上材を痛めることなく修繕	5.0	0.11			
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新に対応したルートを確保	5.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.6
LR1 エネルギー				0.40			3.7
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30			3.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20			4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電による利用量年間33.5MJ/年㎡	5.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		LED照明の採用	4.4	0.30			4.4
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	4.0				
		集合住宅の評価					
4 効率的運用			3.5	0.20			3.5
4.1	モニタリング	主要な用途別エネルギー消費の内訳を把握し、妥当性を確認	4.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			4.1
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水型便器の採用	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			4.2	0.63			4.2
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	建築製品(材料系の資材)デッキプレート(庁舎車庫屋根)	5.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	床:ビニル床タイル、磁器タイル、タイルカーペット	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS壁、GL壁の採用、OAフロア、可動間仕切りの採用	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22			4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない材料を使用	5.0	0.32			
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン現場発泡硬質ウレタンフォーム採用	5.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮		太陽光発電の採用、外壁、屋根断熱による環境負荷低減	3.6	0.33			3.6
2 地域環境への配慮			2.6	0.33			2.6
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25			
1	雨水排水負荷低減	雨水抑制施設を自主的に設置	4.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	駐輪、駐車スペースの確保、サービス車両待機スペース確保、進	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.50			
2	振動		-	-			
3	悪臭		3.0	0.50			
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		-	-			
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	適切な屋外照明とし、広告物照明を行わない。	5.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			